

九州大学工学部創造工房建屋建設事業 趣意書

九州大学工学部では、NHKロボットコンテストへの参加をきっかけに、1991年より学生の自主的なものづくり活動を支援する施設「創造工房」を運営してまいりました。これまで、ロボコンチームKURT、ソーラーカーチーム、ヒューマノイドプロジェクト、鳥人間チーム、学生フォーミュラ、PLANET-Qなど、多岐にわたる学生のものづくり活動を支えています。特に2005年の工学部の伊都キャンパスへの移転以降は、工学部教育研究スペースを活動場所として提供し、毎年チームの申請に基づき活動経費の補助を行っております。

この創造工房の活動は近年活発となっており、工学部学生を中心に他学部学生も含め、現在200名以上が意欲的に活動しています。各チームには教員が顧問として助言を行い、また工学部技術部が創造工房活動時の安全教育を実施するなど、学生が安心して活動できる環境を整えています。

これまでの学生による自主活動は、自由な発想や創意工夫を生み出し、様々なコンテストでの受賞に繋がり、他の学生への良い刺激を与え、ひいては工学部の技術力・研究力の向上にも大きく貢献してきました。しかしながら、近年は特に学生の活動が活発化・多様化しており、既存の工学部教育研究スペースとの共用では限界に達しています。加えて、大学本部からの支援には、他の大学公認サークルとの公平性の見地等から予算上の制約があるため、慢性的に学生活動スペースが不足する状況となっております。

今後も継続して学生の自主活動の場である創造工房を支援し、その発展を促すためには、新しい活動スペースとして『新創造工房（仮称）』の建屋を準備することが喫緊の課題です。

『新創造工房（仮称）』は、ものづくりを創造的に実践できる人材育成、そして将来イノベーションを実現できる人材育成のために不可欠な施設と確信しております。

つきましては、この建屋建設費用の一部に充当するためのご寄附を賜りたく、九州大学同窓会員をはじめ、卒業生・修了生の皆様、関連する企業の皆様を含めた学内外の皆様からの深いご理解と温かいご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

現在、創造工房では以下の学生団体が活発に活動しています。彼らの情熱と努力が、未来を切り拓く技術と人材を育んでいます。

○ヒューマノイドプロジェクト

二足歩行ロボットを製作し、ロボット格闘競技の世界大会 ROBO-ONE での優勝を目指しています。この活動を通じて「二足歩行ロボットの製作を通じたものづくりの基礎知識・技術の習得」と「競技大会や科学イベントにおける他のエンジニアとの交流」を目的としています。

【主な活動実績】

- ・九州大会のヒューマノイドカップでの二連覇
- ・ROBO-ONE での2大会連続ベスト8入賞など、毎年好成績を継続
- ・オープンキャンパスや子供向けのイベントでのロボット展示、試合実演、ロボットアーム操縦体験を通じた科学技術の普及活動

○ロボコンチーム KURT

「NHK 学生ロボコン」での優勝を目標に日々活動しています。チームは制御を行うソフト班、回路制作を行う回路班、機体や機構の製作を行うハード班の3班体制です。「NHK 学生ロボコン」のほか、「キャチロボバトルコンテスト」や「関西春ロボコン」への出場、さらには「九州夏ロボコン」の開催を通じて、他大学との技術交流も積極的に行っております。これらの活動により、基礎的な加工法やプログラミングの実践・習得だけでなく、工数への意識や運営能力の向上を図り、技術者としての素養を磨いています。

○PLANET-Q

ハイブリッドロケットやスペースバルーン、CanSat（模擬人工衛星）、モデルロケットの製作から打上・放球・投下までを一貫して行っています。

【主な活動実績】

- ・能代宇宙イベント：ハイブリッドロケットの打上・CanSat 投下成功
- ・えひめ南予共同気球実験：スペースバルーン放球成功
- ・種子島ロケットコンテスト：モデルロケットで審査員特別賞受賞
- ・伊豆大島共同打上実験：ハイブリッドロケット打上成功
- ・日本モンゴル共同気球実験：スペースバルーン放球成功

○鳥人間チーム

鳥人間コンテストの第4回大会（1980年）から2019年までに計37回滑空機部門に出場しており（滑空機部門が中止になった第14回大会を含む）、学生チームの中では屈指の歴史と伝統を誇ります。OBには宇宙飛行士の若田光一氏もいらっしゃいます。

【主な活動実績】

- ・2015年大会：滑空機部門 優勝
- ・2019年大会：滑空機部門 第二位（317.57m フライト）
- ・2024年大会：チーム記録更新（414.62m フライト）

○ロボット技術研究会

複数のロボットコンテストでの優勝を目指し、ロボット製作に取り組むサークルです。現在は飛行ロボットコンテスト、キャチロボバトルコンテスト、ROBO 剣（剣道ロボット）などへの出場・優勝を目指しており、さらに新しい大会への出場も視野に入れています。

メンバーは様々なものづくりサークルのOBで構成されており、所属していたサークル活動で得た知見を生かし合い、共にものづくりを行っています。

【主な活動実績】

- ・キャチロボバトルコンテストやROBO 剣で好成績
- ・第14回キャチロボバトルコンテスト優勝

令和7年9月3日

九州大学工学部長

山本 元司

九州大学工学部創造工房建屋建設事業 概要

I 主催者

九州大学工学部創造工房

II 寄附目標額

1 億円

III 寄附募集期間

令和7年10月1日～令和8年12月31日

IV 募金額

個人一口 1 万円

法人一口 10 万円

※いずれも何口でもご寄附いただけます。

V 謝意

手作りの銘板を建物に掲示する予定です。

※匿名希望者以外

VI 基金を用いた事業内容

新創造工房（仮称）の建屋建設に係る費用